

# 瀬戸内の陽光に 誘われて 竹喬名品120選



竹喬  
朝

朝 1967年 寄託品

平成28年 4月1日(金)～7月3日(日)

※5月17日より後期展示

開館時間=9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日=毎週月曜日

入館料=一般500(400)円・高校生300(200)円・小中学生150(90)円

( )内は団体20名以上

65歳以上の方および笠岡市内の小中学生は入館無料(年齢のわかるもの、笠岡っ子無料パスを提示してください)

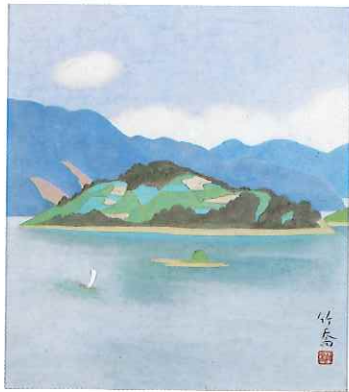
関連行事=とびだす竹喬美術館 ポップアップカード体験 開館日の10:00～16:00(所要約10分)

参加費100円(要入館料) 申込不要

ギャラリートーク 4月2日(土)・5月22日(日) 13:30～14:30 聴講無料(要入館料) 申込不要

 笠岡市立竹喬美術館

〒714-0087 岡山県笠岡市六番町1-17 tel.0865-63-3967 fax.0865-63-4496  
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/site/museum/>



①



②



③

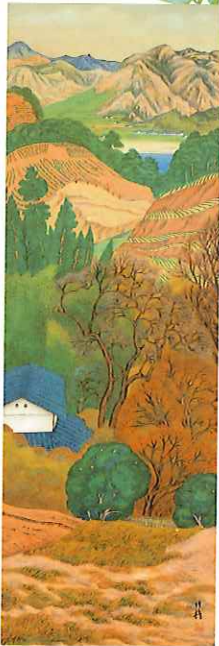
# 瀬戸内の陽光に誘われて 竹喬名品120選



小野竹喬の生まれ故郷に創設された笠岡市立竹喬美術館は、今年で開館34年目を迎えます。はじめはわずか18点であった収蔵品も、多くの方々のお力添えのおかげで2,772点(2015年12月現在)となりました。これらの収蔵品は、そのすべてが竹喬作品というわけではなく、竹喬芸術を理解する上で不可欠な作品や、笠岡の文化を語る上で重要だと考えられる作品等を含んでいます。

小野竹喬の名品は当市以外の各所にあり、笠岡市では約1,000点を所蔵します。このたびの展覧会では、これらの所蔵品とご寄託いただいている作品の中から、日々竹喬作品に触れている美術館職員がおすすめする120点を選び出し、前後期にわけて紹介します。館内すべてが竹喬作品となるこの会期中、作品の魅力を楽しんでいただくばかりでなく、収蔵に至る経緯や制作の秘密についてもご紹介したいと思います。

瀬戸内海に面した笠岡は、陽光に恵まれ、海はのどかで山はなだらかです。その明るさや穏やかさは、日本のどこを描いた場合でも、そのまま竹喬作品の特徴として画面に表われていると言われます。一人の日本画家を通して、その人の故郷にも関心を寄せていただけましたら幸いです。



④



⑥



⑦



⑧

- ①瀬戸の海 1957年頃(後期)
- ②樹間の茜 1974年(前期)
- ③早春 1967年(後期)
- ④島二作 1916年(前期)
- ⑤落照 1908年(後期)
- ⑥桃咲く頃 1915年頃(前期)
- ⑦杜 1915年頃(後期)

## 音声ガイドダウンロードサービス

「音声ガイド」の貸し出しサービスを行っています。館内で500円(税込)にてご利用いただける他、ご来館前にご自身のPCにダウンロードしてiTunesに取り込み、お持ちのiPhoneまたはiPadに入れて持参していただくことも可能です。  
※Android機器につきましてはまだ対応していません。

[https://www.kasaoka-kankou.jp/audio\\_tour](https://www.kasaoka-kankou.jp/audio_tour)

### ■交通

- 山陽自動車道 笠岡I.C.から 15分
- JR山陽本線笠岡駅から
- ・タクシー 5分 ・徒歩 25分
- ・笠岡駅前4番のりば
- 神島(こづのしま)循環/乗時(のりどき)行き/英の浜(みののはま)行き「市民会館・竹喬美術館前」下車すぐ
- 所要5分・150円



## 笠岡市立竹喬美術館

ちつきよう 検索

〒714-0087 岡山県笠岡市六番町1-17  
tel.0865-63-3967 fax.0865-63-4496  
<http://www.city.kasaoka.okayama.jp/site/museum/>

## ★笠岡いいとこめぐりバスのご案内

土・日・祝日に限り「笠岡いいとこめぐりバス」が運行されます。専用のワンデーチケット(大人500円・小人250円)で「市民会館・竹喬美術館前」より「カブトガニ博物館」、「道の駅・笠岡ベイファーム」に行くことができます。詳しくは笠岡市観光連盟(Tel.0865-69-2147)へお問い合わせください。

笠岡市観光連盟HP  
<https://www.kasaoka-kankou.jp/>



道の駅・笠岡ベイファームより笠岡湾干拓地のポピー畑